

高齢者を地域で見守り 輪之内町が6事業者と協定



協定を結んだ事業者の関係者ら＝輪之内町役場

一人暮らしの高齢者の見守り体制を強化しようと、輪之内町と町内などの6事業者が同町役場で、高齢者見守りネットワーク事業の協定を結んだ。日常業務で住宅を訪問する事業者と連携し、地域の目で見守っていくのが狙い。

(河村有都)

西美濃農業協同組合、羽島郵便局、輪之内郵便局、大垣西濃信用金庫、安田新聞店、岐阜ヤクルト販売と協定。営業や宅配業務で住宅を回り、郵便物がたまっているといった異変に気付いた際に、町などの関係機関に情報提供してもらう。調印式には関係者11人が出席。同組合の小林徹代表理事組合長が代表で協定書に署名した。木野隆之町長は「より住みよい町づくりに

向け、アンテナは高く、窓口は広くしていきたい」と述べた。